

日本食道学会より

『長期予後からみた頸部食道癌におけるリンパ節郭清効果に関する研究』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

頸部食道癌は、食道癌の中でも比較的稀な癌です。頸部食道癌のリンパ節転移は、頸部だけではなく胸部にも及ぶことがあり、手術にあたり適切なリンパ節郭清範囲をはっきりさせる必要があります。これまでに、全国規模のデータを用いて頸部食道癌のリンパ節郭清効果を解析した研究はありません。この研究の目的は、本邦における頸部食道癌のリンパ節郭清効果を明確にし、適切なリンパ節郭清範囲を提案することです。

➤ 研究（調査）の方法

この研究は、これまでに登録された食道癌全国登録と食道学会員へのアンケート調査を使用します。前者では、頸部食道癌の手術症例から5年全生存率、リンパ節領域ごとの転移頻度、転移陽性例の5年全生存率などを抽出し、各リンパ節領域の郭清効果index（転移率×転移症例の5年生存率）を求めます。後者では、前述の食道癌全国登録に含まれない占居部位、術前治療、術式、病理組織結果、再発部位などのデータも収集し、これらをふまえ適切なリンパ節郭清範囲を提案します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本食道学会の全国登録に参加している全ての施設。

➤ 調査期間

調査期間（2001年1月1日～2019年12月31日） 研究期間（2022年3月31日～2023年3月31日）

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、2001年1月1日以降に頸部食道癌と診断され手術を受けられた患者さんを対象に、食道癌全国登録に登録されたデータと、アンケート調査により日常診療記録から得られたデータを解析するものです。データは個人が特定できないように匿名化して管理され、個人情報を守ります。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意思で決まります。調査への協力をお断りされても、患者さんに不利益になることはありません。もしこの研究におけるデータの使用をお断りになりたい方は、対象から除外させて頂きますので、ご遠慮なくお申し出下さい。

➤ お問い合わせ先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：村上健太郎（千葉大学大学院 先端応用外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本食道学会 事務局
〒130-0012 東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階
TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail: office@esophagus.jp